

地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージの 改定に向けた状況

～パッケージの目指す姿と、令和4年度第2次補正予算案の状況～

科学技術・イノベーション推進事務局

令和4年11月24日



我が国が目指す国家像とは？（第6期 科学技術・イノベーション基本計画より）

現状認識

国内外における情勢変化

- ✓ 先端技術（AI、量子等）を中核とする国家間の覇権争いが先鋭化
- ✓ 気候変動による災害の激甚化など脅威が現実化
- ✓ ITプラットフォームによる情報独占と、巨大な富の偏在化

加速

新型コロナウイルス感染症の拡大

- ✓ 感染拡大防止と経済活動維持のためのスピード感のある社会変革
- ✓ サプライチェーン寸断が迫る各国経済の持続性と強靱性の見直し
- ✓ 生活面でも、在宅勤務、遠隔授業など環境が一変

科学技術・イノベーション政策の振り返り

- ✓ 目的化したデジタル化と研究力の継続的な低下
 - － デジタル化は既存の業務の効率化が中心
 - － 論文の国際シェアの低下
 - － 若手研究者の任期付き増
- ✓ 科学技術基本法の改正
 - － 「人文・社会科学の振興」の追加
 - － 「イノベーションの創出」の追加

「グローバル課題への対応」と「国内の社会構造の改革」が不可欠

我が国が目指す社会（Society 5.0）

持続可能性と強靱性を備え、国民の安全・安心を確保

【持続可能性の確保】

- 地球環境の持続
- 現世代と将来の世代が豊かに生きていける社会の実現

【強靱性の確保】

- 災害や感染症をはじめ、様々な脅威に対する総合的な安全保障の実現

一人ひとりの多様な幸せ（well-being）を実現

【経済的な豊かさと質的な豊かさの実現】

- 誰もが能力を伸ばし、多様な働き方を可能に
- 生涯にわたり生き生きと社会参加
- 夢を持ち続け、自らの存在を肯定し活躍

この社会像に「信頼」や「分かち合い」を重んじる我が国の伝統的価値観を重ね、Society 5.0を実現

Society 5.0の実現に必要なもの

サイバー空間とフィジカル空間の融合による持続可能で強靱な社会への変革



新たな社会を設計し、価値創造の源泉となる「知」の創造



新たな社会を支える人材の育成



国際社会に発信し、世界の人材と投資を呼び込む

大学全体像の理想の姿とは？

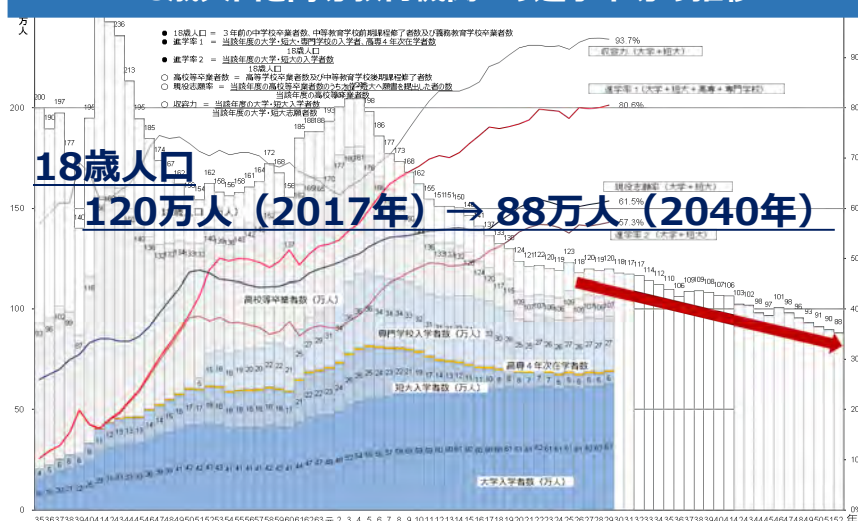
□ 目指すべき国家像の実現に向けて、我が国の大学全体像の理想の姿とは？

- 18才人口の減少や、社会から求められる高等教育機関への期待（社会人のリスクリングや、博士人材のニーズなど）など、デマンドサイドに立った大学学部や大学院の最適規模の均衡の下、
- 全国に配置されている多様な高等教育機関が、その発展の経緯も踏まえつつ、機能分化に基づく役割分担の下で、それぞれの個性や特長を最大限に発揮させ、
- あらゆる世代が学ぶ「知の基盤」として、全国の高等教育の機会均等の要請に応え、均衡ある発展に貢献するに留まらず、
- 新たな価値創造を通じて、次代の社会構造の転換を促し得る大胆なビジョンを提唱し、グローバルアジェンダを牽引

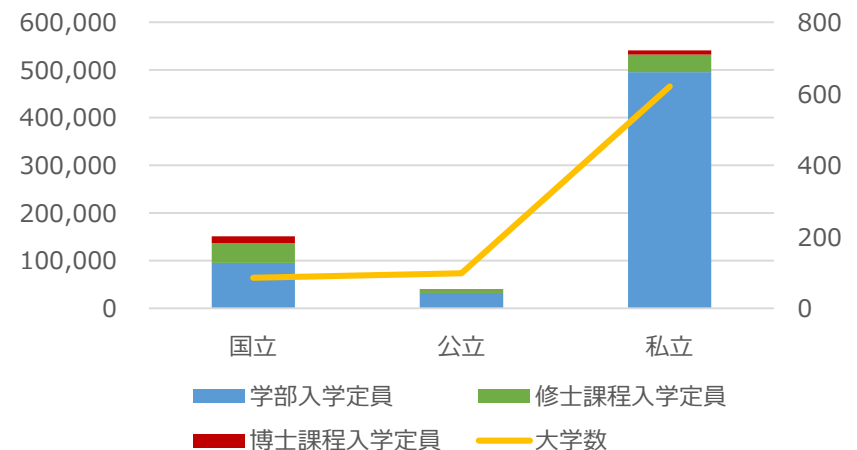
高等教育の目指すべき姿（「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）平成30年11月中央教育審議会」【概要】より抜粋）

- ・ 教育と研究を通じて、新たな社会・経済システムを提案、成果を還元（「知識の共通基盤」）
- ・ 多様で卓越した「知」が、イノベーションの創出や科学技術の発展に寄与（「研究力の強化」）
- ・ 産業界の雇用の在り方や働き方改革と、高等教育が提供する学びのマッチング（「産業界との協力・連携」）
- ・ 「個人の価値観を尊重する生活環境を提供できる社会」に貢献（「地域への貢献」）

18歳人口と高等教育機関への進学率等の推移



課程別大学入学定員（国公私別，2021年5月1日現在）



令和3年度全国大学一覧（文部科学省）

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ichiran/mext_01856.html

大学の全体像（イメージ）

※本全体像は、個々の大学をそれぞれの象限にプロットすることを目的としたものではなく、総合振興パッケージによる支援が想定される大学群のイメージを表したもの

✓ 大学院教育における研究活動を重視する大学

（面積は大学数のイメージ）

国際卓越研究大学

総合振興パッケージによる支援が想定される大学

✓ 特色ある学問領域の創出
を主に目指す大学

✓ 地域の経済社会や国内外の
課題解決を主に目指す大学

教員養成など特定の目的に特化した大学

✓ 学部教育における教育活動を重視する大学

総合振興パッケージでは、大学の中でも特に、上記の絵のオレンジ色部分
（＝主に研究活動を核として大学の力を向上させる大学）にフォーカスし、
持つことが期待される機能の強化に資する政府の支援策を取りまとめ

総合振興パッケージで目指す大学とは？

□ そもそも、研究大学とは？

- 高等教育機関のうち特に、（複数の分野において）多様な社会で活躍できる博士人材を輩出する機能を持ち、大学院教育における研究活動を重視しており、研究基盤を維持し、多くの研究者や博士課程学生が在籍している大学

（参考）カーネギー大学分類：米国カーネギー教育振興財団が出資し設立した、民間の高等教育政策審議機関であるカーネギー高等教育審議会が、高等教育の現状分析と課題析出に資するために作成したものが始まりであり、学位授与数や専攻の多様性等により、Doctoral Universities, Master's Colleges and Universities, Baccalaureate Colleges, Associate's Colleges, Special Focus Institutions 等に大別

□ 目指す研究大学の姿は？

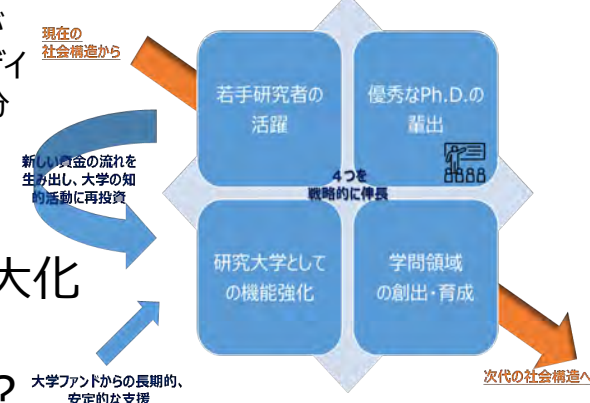
- 優秀な博士人材が育成され、若手研究者が独立した環境で存分に研究に挑戦でき、研究者が研究に専念することが出来る等、十分な研究環境基盤を保持
- 特定の学問領域におけるクリティカルマスを持ち、それを核とした研究活動の国際展開や社会実装等を加速
- 知の価値化を通じて社会から多様なリソースを呼び込み、それを最大限活用するマネジメント力を発揮することで、研究力をさらに向上させていくことが出来る自律的サイクルを内蔵

（参考）国際卓越研究大学の目指すべき姿（「世界と伍する研究大学の在り方について 最終まとめ（令和4年2月総合科学技術・イノベーション会議）」より抜粋）

知の蓄積と社会的な価値創造やイノベーションの中核的拠点として、世界トップクラスの研究者が集まり活躍できる環境を作るための研究大学としての機能を強化し、分野横断的なカリキュラム・デザインに基づく博士課程において優秀な博士人材を育成するとともに若手研究者が独立した環境で存分に研究できる環境を通して、新しい学問領域を創出・育成し続けることで、世界から目に見える大学

□ 総合振興パッケージで目指す大学像は？

- 研究活動を核として、人材育成の面も含め「大学全体の力」を最大化
- そのために大学が持つことが求められる機能とは？
- 総合振興パッケージを通じて、それらの機能をどう強化していくのか？



総合振興パッケージで目指す大学に求められる機能とは？

□ 大学の「科学技術力」の最大化

- 特定の分野において「特色ある強み」を持つ多様な大学が、それぞれの**強みをさらに拡充・発展**

(具体的な機能)

- ✓ 特定領域の研究力が、世界最高水準の研究大学と同等の世界トップクラスへ向上【基礎研究力】
- ✓ 強みや特色に基づく共同研究や起業の件数の増加や、企業等からの外部資金の飛躍的拡大【イノベーション力】
- ✓ 上記を通じた優秀な博士人材の輩出【次代を切り拓く人材の育成】

□ 大学の「地域やグローバル社会に対する貢献力」の最大化

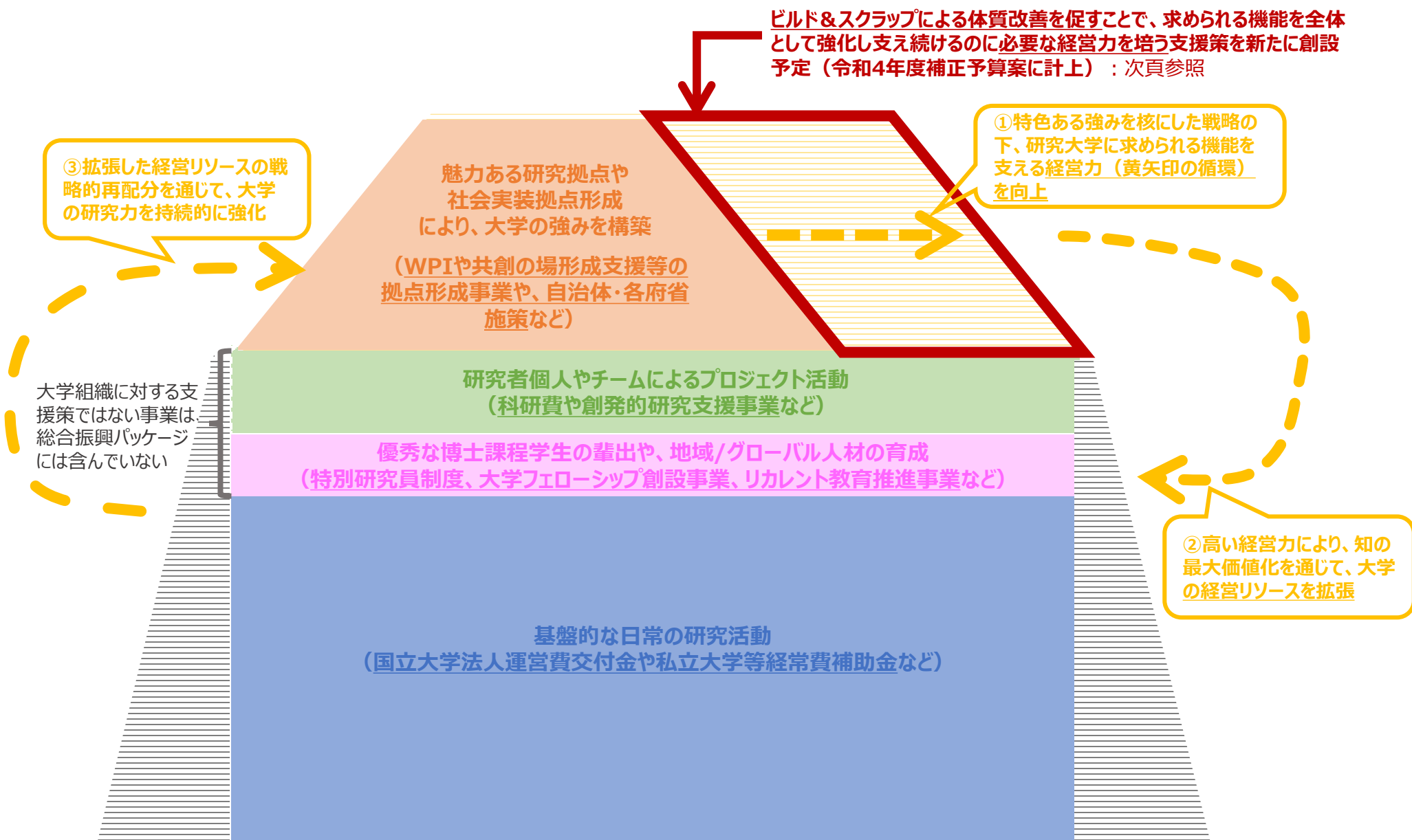
- 「知と人材の集積拠点」である大学が、多様な知の社会的・経済的価値化を通じた**課題解決、新産業の創出を進める**と共に、地域のニーズに即した**人材育成**にも取り組み、**社会変革を牽引**

(具体的な機能)

- ✓ 自治体、産業界、金融業界等との協働を通じ、大学の研究成果を地域のニーズとマッチングさせ、課題解決を次々と実施【社会課題解決力】
- ✓ 産業の担い手や、グローバルな活躍による恩恵を地域にもたらし地域社会を牽引する人材の輩出、さらには社会人のリスキリングを通じたエキスパート人材の育成【地域/グローバル人材の育成】

- ✓ **総合振興パッケージ**は、大学が、上記のような、研究力を核として大学の力を向上させるために求められる機能について、自らのミッションや戦略性に応じて**選択的かつ、段階的に強化**出来るよう、重層的に展開される各府省の事業を1つの政策パッケージとしてとりまとめたもの
- ✓ **国際卓越研究大学制度**では、継続的な事業成長と大学独自基金の造成を前提に、**自律的経営**を通じ、研究大学として求められる**機能全体を世界トップレベルに引き上げる**大学を支援
- ✓ **総合振興パッケージ**では、それぞれの機能の強化に資する既存の支援に加え、**国際卓越研究大学制度にも繋がる橋渡し**も念頭に、研究活動を核として大学の力を向上させる大学としての**体質改善を促し、機能を全体として強化し支え続けるために必要な経営力を培う支援**が不可欠 ⇒次頁参照
- ✓ 総合振興パッケージと、国際卓越研究大学制度とが**相まって、持続可能で豊かな研究大学群を実現**することを目指す

研究活動を核とした「大学の力」の最大化を支える主な施策の構造イメージ



背景・課題

- ✓ 我が国全体の研究力の発展をけん引する研究大学群の形成のためには、大学ファンド支援対象大学と地域中核・特色ある研究大学とが相乗的・相補的な連携を行い、共に発展するスキームの構築が必要不可欠
- ✓ そのためには、地域の中核・特色ある研究大学が、特定の強い分野の拠点を核に大学の活動を拡張するモデルの学内への横展開を図るとともに、大学間で効果的な連携をはかることで、研究大学群として発展していくことが重要

【国際卓越研究大学の研究及び研究成果の活用のための体制の強化に関する法律案に対する附帯決議（衆・参）】
四 政府は、我が国の大学全体の研究力の底上げを図るため、個々の大学が、知的蓄積や地域の実情に応じた研究独自色を発揮し、研究大学として自らの強みや特色を効果的に伸ばせるよう、国際卓越研究大学以外、特に地方の大学への支援に十分配慮することとし、地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージの大幅拡充等により、十分な予算を確保すること。

【経済財政運営と改革の基本方針2022（令和4年6月閣議決定）抄】

・地域の中核大学等が、特色ある強みを発揮し、地域の経済社会の発展等への貢献を通じて切磋琢磨できるよう、産学官連携など戦略的経営の抜本強化を図る。

事業内容

研究力の飛躍的向上に向けて、強みや特色ある研究力を核とした経営戦略の下、大学間での連携も図りつつ、研究活動の国際展開や社会実装の加速・レベルアップの実現に必要なハードとソフトが一体となった環境構築の取組を支援

【地域中核・特色ある研究大学強化促進事業】

1,498億円

- 事業実施期間：令和4年度～（5年間、基金により継続的に支援）
- 支援件数：最大25件（申請毎に複数大学で連携）
- 支援対象：
強みや特色ある研究、社会実装の拠点（WPI、共創の場等）等を有する国公立大学が、研究力強化に有効な他大学との連携について協議のうえ、研究力の向上戦略を構築した上で、全学としてリソースを投下する取組（単独大学での申請及び国際卓越研究大学への申請中の大学を含む申請は対象外）
※ 5年目を目途に評価を行い、進捗に応じて、必要な支援を展開できるよう、文科省及びJSPSにおいて取組を継続的に支援（最長10年を目途）
- 支援内容：
上記を具現化するために必要な設備等の整備（30億円程度/件）と合わせて、研究開発戦略の企画や実行、技術支援等を担う専門人材の戦略的な配置や活動、研究環境の高度化等に向けて必要となる環境整備等の取組（5億円程度/件・年）を一体的に支援。
（注）設備について1大学あたり上限15億円、1件（申請）あたり支援総額は連携大学数等に応じて決定。

【地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業】

502億円

- 単価・件数：平均20億円程度 × 最大25件
（1大学あたり上限10億円、申請毎の連携大学数・内容等に応じて交付額を決定。）
- 支援内容：（注：支援対象は「地域中核・特色ある大学強化促進事業」に同じ）
研究力の向上戦略の下、大学間の連携を通じて地域の中核・特色ある研究大学として機能強化を図る大学による取組に対し、共同研究拠点化に向けた施設やオープンイノベーションの創出等に必要な施設の整備を支援

【支援のスキーム（基金）】



- 強みを有する大学間での連携による相乗効果で、研究力強化に必要な取り組みの効果を最大化
- 特定領域のTOP10%論文が世界最高水準の研究大学並みに
- 強みや特色に基づく共同研究や起業の件数の大幅増加、持続的な成長を可能とする企業や自治体等からの外部資金獲得

- ✓ 研究を核とした大学の国際競争力強化や経営リソースの拡張
- ✓ 戦略的にメリハリをつけて経営リソースを最大限活用する文化の定着

我が国の科学技術力の飛躍的向上
地域の社会経済を活性化し課題解決に貢献する研究大学群の形成

総合振興パッケージ関連の令和4年度第2次補正予算案

総合振興パッケージ関連予算として、令和4年度第2次補正予算案に **計2,170億円+988億円の内数**を計上

文部科学省

地域中核・特色ある研究大学の振興	2,000億円
うち、地域中核・特色ある研究大学強化促進事業（基金）	1,498億円
うち、施設整備部分	502億円
創発的研究支援事業	
うち、研究環境改善部分	47億円
成長分野における即戦力人材輩出に向けたリカレント教育推進事業	17億円
大学発スタートアップ創出の抜本的強化（基金）	988億円の内数
大学発新産業創出プログラム（大学・エコシステム推進型）	10億円
※起業家層の拡大に向けたアントレ教育の高校生等への拡大 -EDGE-PRIME Initiative-	
マテリアル先端リサーチインフラ	20億円
生命科学・創薬研究支援基盤事業	14億円

経済産業省

地域の中核大学等のインキュベーション・産学融合拠点の整備	60億円
------------------------------	------

※ この他、その他関連予算（大学が参画することも可能な事業）は、**計167億円** を計上（内閣府、農林水産省、国土交通省、環境省）